

# ふるさと納税寄附金活用事業報告について

令和4年度中にいただいた寄附金（繰越事業分含む）2,805,236,000円については、令和5年度に実施しました各事業に活用いたしました。  
 下記のとおり、主な活用事業を報告するとともに、今後とも本市への応援をよろしくお願いいたします。

## 令和5年度主な活用事業について

寄附金使い道別	使途区分	事業名	寄附金活用金額
まちづくりの推進	まちづくりに取り組む住民組織の支援 まちづくりの拠点施設の整備 安全・安心なまちづくりの推進	まちづくり協議会活動推進事業	31,356,000
		資源回収団体奨励補助事業	16,425,000
		各支所庁舎改修事業	430,642,000
		各交流センター整備事業	6,510,000
		通学路緊急対策事業	13,180,000

### 《まちづくり協議会活動推進事業》

まちづくり協議会が策定する、まちづくり計画に基づき実施される地域活性化や地域課題解決に向けた幅広い事業に対して、まちづくり協議会補助金を交付しています。  
 その交付金は、地域のイベントをはじめとしたさまざまな事業に活用されています。





### 《各支所庁舎改修事業》



穂波、筑穂庁舎の老朽化に伴い、大規模改修を行っています。



穂波支所



寄附金使い道別	使途区分	事業名	寄附金活用金額
産業・経済の活性化	国際化の推進 訪れた方をおもてなしする施設の充実 観光イベントの運営 起業家の育成や企業誘致の推進 豊かな農畜産物を育む環境の整備等	サンビレッジ茜整備事業	19,468,000
		飯塚観光協会補助事業	16,293,000
		企業立地促進補助事業	20,047,000
		先端情報技術開発支援事業	6,906,000
		有害鳥獣駆除対策事業	12,000,000
<p>《有害鳥獣駆除対策事業》</p> <p>自然の環境の変化等により増加するイノシシ・シカ・アナグマ・アライグマの捕獲を推進し、農作物及び生活環境の被害を防止するために、有害鳥獣駆除対策に係る経費や活動実績・捕獲頭数に応じた補助金を交付しました。</p> 		<p>《サンビレッジ茜整備事業》</p> <p>サンビレッジ茜は人工芝スキー場、キャンプ場及び屋内運動場等を有する施設です。施設として継続させるため、老朽化した機器等の整備を計画的に更新及び改修を行うことにより、利用者の増加を図っています。</p> 	

寄附金使い道別	使途区分	事業名	寄附金活用金額
教育・文化の充実	子どもの学力向上 新しい情報化社会に対応する人材の育成 世界/社会に通用する人材の育成 義務教育環境施設の整備 スポーツ・文化を振興する施設の整備	教育用情報機器管理	31,187,000
		ICT教育推進事業	39,813,000
		外国語教育推進事業	70,739,000
		二瀬中学校大規模改造事業	26,974,000
		市民公園運動広場施設整備	30,542,000
		文化会館改修事業	99,374,000
<p>《教育用情報機器管理事業・外国語教育推進事業》</p> <p>児童生徒の確かな学力をより効果的に育成し、ICTの積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じた協働型・双方向型の授業革新を推進するため、各学校にICT機器（電子黒板等）の整備を行っています。また、令和2年度の小学校第5・6学年における英語強化及び平成30年度からの先行実施を鑑み、小学生の聞く・話すを中心とした英語の初歩的な運用能力を養うため、全飯塚市立小学校19校の第5,6学年の児童を対象に年一人20回のマンツーマンによるオンライン英会話を実施しています。</p>		<p>《文化会館改修事業》</p> <p>開館後31年を経過する文化会館の老朽化施設・設備等について、平成30年度策定の改修計画に基づき順次改修を行っています。また、ホール等に使用されている吊り天井については安全性の確保が喫緊の課題であることから天井耐震性強化改修工事（令和3～5年）を実施しました。</p>	
			

寄附金使い道別	使途区分	事業名	寄附金活用金額
市民福祉の充実	子どもの成長を見守る事業の推進 保育体制の充実と保育環境の向上 障がい者福祉の向上 高齢者の活躍推進 健幸寿命を延ばす取り組みの充実	未来の地域人材応援事業	128,769,000
		立岩・飯塚東児童センター大規模改造事業	6,581,000
		サン・アビリティーズいづか改修事業	5,394,000
		敬老祝品支給事業	19,126,000
		シルバー人材センター補助等事業	13,910,000
<p>《未来の地域人材応援事業》</p> <p>子育て世帯の支給及び定住化促進を目的として、飯塚市の未来を担う子どもたちへの応援金を支給するものです。</p> <p>第3子以降の児童及び出産した児童以外に2人以上の生計を同じくする兄弟を養育している方に応援金10万円を支給し、子育てを応援します。また、小学校に1年生として入学した児童、中学校に1年生として入学した生徒、義務教育学校に7年生として進級した生徒を養育している方に5万円を支給し、入学時の負担を軽減し、子育てを応援しています。</p>		<p>《サン・アビリティーズいづか改修事業》</p> <p>本施設は、障がい者（児）の社会参加を促進するための施設であり、現在の建物を継続利用するにあたり必要な改修を行いました。</p>	
			



寄附金使い道別	使途区分	事業名	寄附金活用金額
生活基盤の充実・環境整備	浸水対策事業 市街地の活性化・再整備 市民の円滑な移動を支援する交通機関の維持・確保 子どもが安心して遊べる場所の整備	各所浸水対策事業	40,463,000
		菰田西公園整備事業	10,630,000
		上山田線・飯塚大隈線バス路線維持事業	13,630,000
		公園施設管理事業	17,195,000

《各所浸水対策事業》

近年の気象変化の影響に伴う集中豪雨（ゲリラ豪雨）の多発により、用排水路が氾濫し農道等が冠水したことから、農業施設の維持管理を行い安定した営農を図るために改良工事実施しています。

また、河川・道路については、浸水対策基本計画に基づき、護岸改良・護床改良、側溝設置・集水柵改良等の工事を行っています。






浸水対策事業を実施するにあたり、工事施工区間および仮設道路等を設置した箇所の地盤沈下や施設等の不具合が生じる等の影響を受けた公共施設等の補修工事を行いました。




寄附金使い道別	使途区分	事業名	寄附金活用金額
飯塚市大学応援寄附金	飯塚市大学応援	大学支援事業	11,408,000

《大学支援事業》

大学へ補助金を交付し、キャンパス環境の充実に活用されました。

寄附金使い道別	使途区分	事業名	寄附金活用金額
新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症対策事業	273,000
<p>《新型コロナウイルス感染症対策》</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒用アルコール、手指消毒液を購入しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  マスク着用  手洗い  密接回避  換気  密閉回避 </div>			

寄附金使い道別	使途区分	事業名	寄附金活用金額
嘉穂劇場クラウドファンディング	嘉穂劇場保存整備	嘉穂劇場保存整備事業	27,408,000
<p>《嘉穂劇場保存整備事業》</p> <p>嘉穂劇場は2006（平成18）年11月に国登録有形文化財となった歴史的建造物です。江戸時代の歌舞伎様式を伝える木造2階建ての入母屋造の純和風様式の劇場は、歌舞伎から歌謡ショー、プロレスに至るまで各種興行が続けられてきました。現在休館中ですが、再開・活用に際しては、大規模な施設・設備の改修が必要であり、5年度は改修計画の策定委託を行いました。</p> <div style="text-align: right;">  </div>			

寄附金使い道別	使途区分	事業名	寄附金活用金額
全事業	ふるさと飯塚を応援	住宅取得移住奨励事業	99,127,000
		戸建て中古住宅取得補助事業	28,460,000
		地域活性化応援券発行事業	204,859,000
		市民公園整備事業	38,352,000
		障がい児通所支援事業	22,346,000
<p>《住宅取得移住奨励、戸建て中古住宅取得補助事業》</p> <p>筑豊地域外から本市への移住・定住を図るため、本市に居住用の住宅（新築・中古を問わない）を取得した筑豊地域外（飯塚市、直方市、田川市、宮若市、嘉麻市、小竹町、鞍手町、桂川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町以外）からの移住者の方に対して奨励金を交付しています。</p> <p>また、中古住宅を活用した定住を促進し、住環境の保全を図るため、築10年以上を経過した市内の戸建て中古住宅を購入し、居住した世帯に購入費用の一部を助成しています。</p>		<p>《地域活性化応援券発行事業》</p> <p>物価高騰による購入意欲の低下に対する消費喚起、並びに事業者支援のためプレミアム付き応援券の発行を行いました。キャッシュレス化推進を図るため紙券の販売は行わず、高齢者やスマートフォン非保有者のためQRコードを印刷したカードを発行しました。</p>	

